

もの言う牧師のエッセー 第205話

「世界で最も醜い女！」

テキサス出身のメキシコ系アメリカ人女性、リズィー・バレスケスさんの勢いが止まらない！彼女を含め世界に3例しか症例がないという、生まれた時からの遺伝子の異常により脂肪組織が正常に働かない難病を抱える彼女は全く太ることが出来ない。そのため26歳になった今まで29kg越えたことがない。免疫力も弱く体調は非常に不安定、しかも4歳の時には右目を失明し左目の視力もおぼつかない。早く歳を取ってしまう“早老症”の一種である「ハッチンソン・ギルフォード・プロジェリア症候群」に近い症状とされるがはっきりしたことは分からない。

まるで枯れ木のような容姿ゆえに幼少の頃よりいじめを受けてきた彼女が17歳になった時、身の毛もよだつような事件が起こる。何者かがユーチューブに彼女の動画を「世界で最も醜い女/The world ugliest woman」と銘打ちビデオ投稿、あっという間にヒット数が400万件に達した。慌てた彼女の両親は削除しようと奔走するがどうにもならない。

しかし、人生最悪のどん底に突き落とされ、泣いて泣き明かした後に、筋金入りのクリスチャンである彼女は不屈の闘志で立ち上がった。「もう私はネガティブなものに目もくれない。これからは幸せに生きてみせる！神様がそこにいて下さるから！これは私の前にある岩だけど信仰の力で乗り越えてみせる！」「さあ反撃よ！！」まず彼女は今回の一件が自分の人生に何の影響も及ぼさないことをユーチューブに逆投稿、笑ったり踊ったりする動画も同時に流しネットいじめには断固として屈しないと挑戦状を叩き付けた！すると、自身をおとしめた先の投稿を軽々と上回る800万件のヒットを記録。あっという間に全米のメディアで注目の的となり、今度はテレビで“いじめ反対”を徹底的に訴えた。多くの若い人々、特にティーンエイジャーの少女らが賛同を示し、これに驚いた全米の学校が彼女に“いじめ反対”のスピーチを依頼、全米を演説して回る「いじめ撲滅キャンペーン」が始まった。その後、彼女は米議会でも証言、自己啓発本を3冊刊行、大学を卒業し、自身の生き様を描いた映画「ブレイブ・ハート」も上映され、ついに結婚もした！ 聖書は言う。

「私たちがキリストの愛から引き離すのは誰ですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。しかし、私たちは、私たちが愛してくださった方によって、これら全てのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。」

ローマ人への手紙 8章 35,37節。

人を救うのは宗教や教えではなく、生ける神キリストとのかかわりである。ああ、神の愛と、彼女の信仰に脱帽。

2015-10-21

